

3. 魅力向上策の基礎となる調査

3.1 太閤山ランドの現状

3.1.1 太閤山ランドの概要

太閤山ランドは、県民誰もが利用できる総合レクリエーションセンターとして、昭和58年(1983)7月に富山県の置県100年を記念してつくられた県内最大の都市公園である。

「にっぽん新世紀博覧会」(昭和58年(1983)7月)や「ジャパンエキスポ富山」(平成4年(1992)7月)をはじめとする大規模イベントの会場となったほか、平成元年(1989)には「日本の都市公園100選」に選定されるなど、県を代表する公園として広く県民に親しまれている。

表 1 太閤山ランドの概要

名称	県民公園 太閤山ランド
所在	富山県射水市黒河 4774-6
開園	昭和58年(1983)7月
面積	118.1ha(供用部分95.9ha、未供用部分22.1ha)
種別	広域公園
アクセス	北陸自動車道「小杉IC」から約5分/「富山西IC」から約10分 あいの風とやま鉄道「小杉駅」南口からコミュニティバスで約10分(太閤山ランド下車)
整備の背景	富山県の置県100年を記念して、県民に休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的なレクリエーションの場を提供することを目的に設置された。
管理者	公益財団法人 富山県民福祉公園(指定管理)

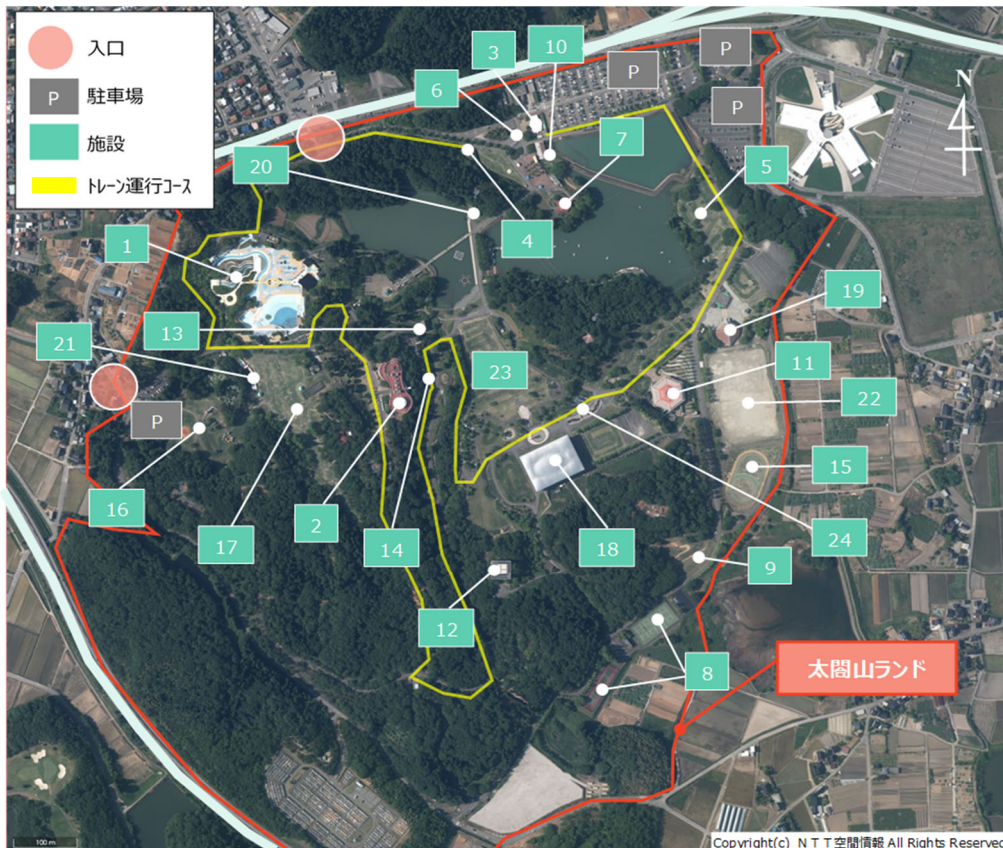


図 2 施設位置図

表 2 太閤山ランドの主要施設

	主な施設		主な施設
1	プール広場	13	太閤山荘
2	こどもみらい館	14	紫陽庵
3	サイクリングセンター	15	ローラースケート場
4	トレーン	16	わんぱくの丘
5	水辺の広場	17	ピクニック広場
6	入口広場	18	ふるさとパレス
7	赤い屋根ギャラリー	19	野外劇場
8	テニスコート	20	ボートのりば
9	BMX 競技場	21	バーベキューコーナー
10	ドッグラン	22	スポーツ広場
11	ファミリー・スポーツ・プラザ	23	いきいき広場
12	展望塔	24	せせらぎの道

3.1.2 太閤山ランドの概況

表 3 太閤山ランドの概況

内容	特徴
景観	<ul style="list-style-type: none"> 丘陵地に位置し、なだらかな傾斜地に広がる芝生広場や、水辺、まとまった樹林などがある。 アジサイ園には約 100 種類・2 万株が植えられ、毎年 6 月に開催される「あじさい祭り in 太閤山ランド」には多くの利用者が訪れている。 園内各所に約 1,300 本の桜が植えられており、平成 15 年（2003）に富山県の「富山さくらの名所 70 選」に選定されている。
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> 南側に北陸自動車道が接しており、太閤山ランドから「小杉 IC」までは約 5km、「富山西 IC」までは約 10 km である。また、北側に県道 367 号が接しているなど、交通の利便性が良好である。 最寄り駅はあいの風とやま鉄道の小杉駅で、太閤山ランドからの距離は約 3km である。同区間は射水市のコミュニティバスが運行しており、園内にバス停がある。
歴史	<ul style="list-style-type: none"> 置県 100 年を記念し、魅力ある郷土づくり、明日を拓く人づくりの一環として、富山県が整備した。 「にっぽん新世紀博覧会」の開催を契機に昭和 58 年（1983）7 月 16 日に開園し、先端技術の展示やアトラクションが設置され、ファミリー・スポーツ・プラザは、県出展館（百年記念館）として利用された。 平成 4 年（1992）には「ジャパンエキスポ富山」（JET）が開催され、健康と人間、経済と人間、ふるさとと人間など、新しい時代の人間のあり方を提起する発信基地として、開催期間 80 日間の延入場者数は約 236 万人を数え、盛況のうちに終了した。 富山県の置県 100 年を記念し、「百年の泉」スペース・マンダラが整備された。 太閤山荘は、約 200 年前に建築された合掌造りで、南砺市下出（旧平村）に建築されたものを移築したものである。 これまで多数の遺跡が出土しており、プール広場の下からは奈良・平安時代の製鉄炉や住居跡、中央広場の下からは 2 万数千年前の石器が出土した。このほかにも、奈良・平安時代の焼物である須恵器の窯などが見つかっている。

<p>法規制等</p>	<p>【都市計画法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画法では、市街化調整区域の都市公園となっており、南側の一部は未供用地となっている。 <p>【都市公園法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 太閤山ランドにおける公園施設の建蔽率は以下のとおりである。 便益施設・管理施設・その他公園施設等：2% 運動施設・教養施設・休養施設：10% <p>【森林法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林地域が含まれており、この森林地域は保安林の範囲外となっているが、庄川森林計画区における民有林に該当する。林地の開発行為や森林の土地の所有者の変更、伐採などについては、森林法に基づく許可申請や届け出等の手続きが必要となるが、富山県が行う行為については、許可は不要である。 <p>【農業用ため池の管理及び保全に関するガイドライン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女池および中堤が、射水市の「特定農業用ため池」に指定されているほか、人的被害を与える恐れがあるため池として「防災重点農業用ため池」に指定されている。特定農業用ため池の保全に影響を及ぼすおそれのある行為を行う場合は、あらかじめ、都道府県知事の許可を受けなければならない。
<p>防災</p>	<p>【射水市地震防災マップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ゆれやすさ」は震度6強（小）となっている。 「地域の建物全壊危険度」大部分が危険度1、一部が危険度3又は5となっている。 「液化化可能性」の範囲には含まれていない。 <p>【射水市ため池ハザードマップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北部の中堤・女池周辺が、最大「2.0m以上3.0m未満」の浸水想定区域になっている。 <p>【計画地の防災機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難場所等の防災拠点には位置付けられていない。

3.1.3 近隣の類似公園との比較

近隣の類似公園との比較を行い、太閤山ランドの特長（魅力）、類似公園を参考に取り入れることが望ましい要素（改善点）、類似公園との差別化を図ることができる要素（ポテンシャル）を整理した。

表 4 近隣の類似公園一覧

No.	公園名	No.	公園名
1	呉羽山公園	23	となみ夢の平公園
2	稲荷公園	24	砺波総合運動公園
3	城山公園	25	小矢部運動公園
4	神通川水辺プラザ	26	桜ヶ池公園
5	富山南総合公園	27	丸山総合公園
6	富山県五福公園	28	富山県常願寺川公園
7	富山県岩瀬スポーツ公園	29	立山町総合公園
8	富山県総合運動公園	30	入善町中央公園
9	大沢野総合運動公園	31	棚山ファミリーランド
10	神通川緑地	32	大乘寺丘陵公園（石川県）
11	高岡古城公園	33	奥卯辰山健民公園（石川県）
12	高岡おとぎの森公園	34	北部公園（石川県）
13	二上山公園※能登半島国定公園の一部	35	金沢城公園（石川県）
14	城光寺公園	36	卯辰山公園（石川県）
15	魚津総合公園	37	城山運動公園（石川県）
16	魚津桃山運動公園	38	希望の丘公園（石川県）
17	氷見運動公園	39	高松運動公園（石川県）
18	ふれあいの森	40	うのけ総合公園（石川県）
19	滑川運動公園	41	津幡運動公園（石川県）
20	中ノ口緑地公園	42	内灘町総合公園（石川県）
21	宮野運動公園	43	能登歴史公園（石川県）
22	黒部市総合公園	44	眉丈台地自然緑地公園（石川県）

1) 太閤山ランドの特長（魅力）

- こどもみらい館のような、工作などの学習イベントを実施している屋内遊戯施設は他にないため、魅力として維持・向上していくことが望ましい。
- プール広場のような、レクリエーション・賑わい機能を有する大型プールは他にないため、魅力として維持・向上していくことが望ましい。
- 大型遊具、芝生広場、テニスコート、多目的グラウンドなどは多くの公園に導入されており、広大な敷地を有する太閤山ランドにおいても魅力として維持・向上していくことが望ましい。
- 類似公園では大規模なイベント等を実施している例が少ないため、太閤山ランドで実施している季節ごとの大型イベントや、あじさい祭りなどの人気イベントを継続して実施していくことが望ましい。

2) 類似公園を参考に取り入れることが望ましい要素（改善点）

- ・ 多様化するニーズに対応するため、太閤山ランドにおいても宿泊施設や飲食施設などの導入検討を行うことが望ましい。
- ・ 夜間営業を行っている公園はまだ少なく、城山公園の期間限定ナイトズーなどはその公園の特長を活かした参考となる取組みであると考えられる。太閤山ランドにおいても、公園の特長を活かした夜間利用を検討していくことが望ましい。

3) 類似公園と差別化を図ることができる内容（ポテンシャル）

- ・ 林間を活用したレクリエーション・賑わい機能を持つ公園が少ないため、太閤山ランドのまとまった樹林や丘陵地を生かしたレクリエーション施設を導入することで、類似公園との差別化を図ることが可能と考えられる。
- ・ 花の開花時期にライトアップを実施している公園は複数あるが、アジサイを活用した公園は他にないため、約 100 種類 2 万株が見られるアジサイ園を活用した取組みを行うことで、類似公園との差別化を図ることが可能と考えられる。

3.1.4 太閤山ランドの魅力・問題点等

太閤山ランドの魅力や問題点、ポテンシャルを把握するため、以下のとおり現地調査を行った。

日 時：令和3年（2021）10月22日（金）～23日（土）

調査地：太閤山ランド（開園区域内）

方 法：目視による現地確認

1) 魅力

【施設・機能】

- ・ こどもみらい館など、子どもが楽しめる特徴的な施設や遊具が園内中央部に配置されている。
- ・ プール広場など季節を楽しめる施設が充実している。
- ・ こどもみらい館には、多様な体験型の学習施設が導入されている。
- ・ 各施設へのアクセスを向上させるため、トレーンやレンタサイクルが整備されている。

【自然】

- ・ アジサイやサクラ並木を楽しめる散策路や、池の眺望を活かした東屋が設けられている。
- ・ 展望塔からは立山連峰が一望できる。
- ・ 女池及び中堤を周回できるマラソンコースが設定されている。
- ・ けやき通りやさくら通り、あじさいの道、やまはぎの道は、季節を感じながら、ジョギングやウォーキング、サイクリングが楽しめる。
- ・ 多様な自然環境を活用した自然観察会が実施されている。

【維持管理】

- ・ 広場の芝生が綺麗に維持管理されている。

2) 問題点

【施設・機能】

- ・ 立入禁止エリアなど、一部の樹林が未活用となっており、資源を活かしきれていない。
- ・ 自然豊かな環境にもかかわらず、自然資源を活かしたアクティビティが少ない。
- ・ 新造池周辺は、水辺で憩える空間が少ない。
- ・ 園内外の眺望を活かしたビュースポットが少ない。
- ・ 峠のオアシスは、園内で最も標高が高いが、樹林に囲まれ眺望が悪い。
- ・ 東屋が滞留目的のない位置にあるなど、配置のバランスが悪い。

【維持管理】

- ・ スポーツ広場やわんぱくの丘の遊具、テニスコートは施設が老朽化しており、一部は使用が禁止されている。

3) ポテンシャル

【既存施設の改修】

- ・ ローラースケート場など既存施設を活かして、整備費を抑えながら新しいアクティビティを導入することができる。
- ・ 中堤周辺のボードデッキや公園南西部の林間などは、水辺や林間の憩い空間として活用できる。
- ・ 太閤山荘や紫陽庵などは、既存の建物を活用したコンテンツを導入できる。
- ・ こどもみらい館は、既存施設を活用して時代にあった学習コンテンツを導入できる。
- ・ 既存の建物を活用することで、整備費を抑え新たなスポーツのアクティビティを導入できる。
- ・ 展望塔は、立山連峰の眺望を活用した憩い空間とできる。

【新機能の導入】

- ・ 芝生の斜面や広場を活かした遊びを導入できる。
- ・ 立入禁止エリアなど未活用の樹林では、林間を活かした遊びなどが導入できる。
- ・ 未活用の草地や滝流れの庭など、環境学習の場として活用できる。

4) 全体総括

- ・ 四季折々の植物を楽しめる散策路や東屋、立山連峰が一望できる展望塔など、自然を楽しむ施設が設けられており、広場の芝生なども綺麗に維持管理されている。
- ・ 一方で、立入禁止エリアの存在や、自然を活かしたアクティビティや憩い空間が少ないなど、園内の資源を活かしきれていない。
- ・ 通常利用できる駐車場が1か所しかなく、アクセス性の悪いエリアが存在する。
- ・ 案内サインの配置やバリアフリー対応について不十分なエリアが存在する。
- ・ 開設から約40年が経過し、老朽化の目立つ施設やデザイン性の古い施設が複数存在する。
- ・ 老朽化のため使用禁止の状態のままとなっている施設が複数存在する。

3.1.5 利用状況、収支等

(1) 利用状況

太閤山ランドの年間入園者数は、平成 29 年度（2017）から令和元年度（2019）の3年間の平均は、約 78 万人となっているが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、約 6 割の約 45 万人へ減少している。月別では 8 月が最も多く、約 17 万人となっている。

1 グループあたりの来園人数は、現地での聞き取りによれば、令和 2 年度（2020）は 3 人が 36% と最も多く、次いで 4 人（30%）、2 人（20%）、5 人以上（13%）の順であった。令和元年度（2019）は 5 人以上が 38%、4 人が 20%、3 人が 22%で、3 人以上の合計で 8 割を超えていた。

7 月から 9 月の夏季のみの営業にも関わらずプール広場の利用が多く、特に人気のある施設であることが伺える。

また、駐車場利用者数は入園者数の 1 割強にとどまっているが、車での来園者がほとんど（管理者ヒアリングより）であることを考慮すると、上記のように多人数での来園がほとんどであることや、駐車場の年間利用ができるシーズンパス利用者が多いため（令和 3 年（2021）は約 500 枚で、例年約同数）と推察される。

(2) イベント

年間を通じて様々な季節のイベントが開催されている。6 月下旬に開催される「あじさい祭り in 太閤山ランド」、1 月に開催される「左義長まつり」、3 月と 5 月、10 月に開催されるフェスタが人気を集めている。その他、フリーマーケットや自然観察会などが年間を通じて定期的に行われている。

(3) 収支分析

1) 年度別収支

年度別収支については、自主事業分を除いた場合、指定管理初年度の平成 29 年度（2017）を除き黒字となっているほか、平成 30 年度（2018）から令和元年度（2019）にかけて黒字幅が大きく増加している。

自主事業を含めた場合には、平成 29 年度（2017）の赤字幅は約 160 万円縮小している一方、令和 2 年度（2020）は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたために自主事業が低迷し、全体として赤字となっている。

2) 収入の部

A) 収入全体の内訳

収入全体約 433 百万円/年のうち、約 7 割が指定管理料収入であり、残りの約 2 割が利用料収入、約 1 割が自主事業収入で構成されている。

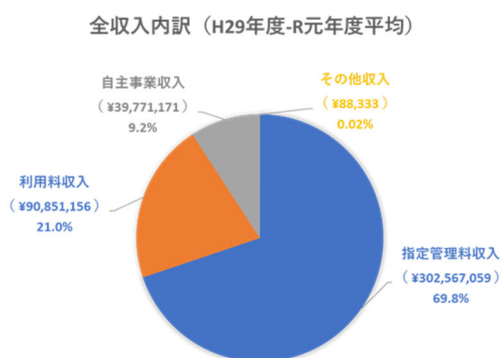


図 4 収入全体の内訳

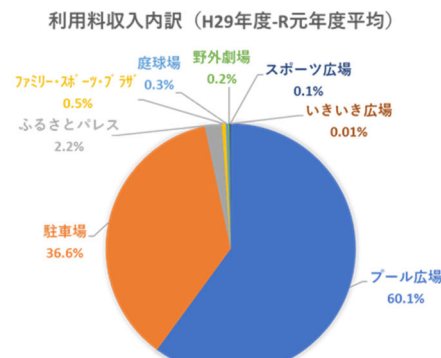


図 3 利用料収入の内訳

B) 利用料収入

約 91 百万円/年の利用料収入の内訳はプール広場（約 60%）と駐車場（約 37%）の利用料収入で全体の約 97%を占める。

C) 自主事業収入及び収支

約 40 百万円/年の自主事業収入の施設等別の内訳は、自販機や売店等の収入が主である収益事業を除き、トレーン、バーベキュー、サイクリング、ボート等の収入割合が大きく、中でも利用単価の低いトレーン（大人：350 円/日、小人：100 円/日）は利用者数も多いといえる。

一方、支出も加味した自主事業収支は、トレーン、ボートといった乗り物アトラクションで赤字幅が特に大きく、利用料収入でそれらの維持管理（修繕費等）・運営費が賄えていない。ただ、これらの乗り物については、人気が高く、また、広い園内の重要な交通手段である。将来のリピーターに繋がる子どもたちの利便性のため、赤字についても、やむを得ないものとする。

また利用料収入が少なく赤字となっているファミリー・スポーツ・プラザやふるさとパレスでの自主事業も改善が必要といえる。ファミリー・スポーツ・プラザやふるさとパレスは中高生の部活動の活動場所となっていることから、公共性の高い利用を維持しつつ、例えば、健康増進を目的としたスポーツの場の需要が今後も高まることが期待されることから、天候に左右されない屋内施設の強みを活かした民間活力導入なども考えられる。

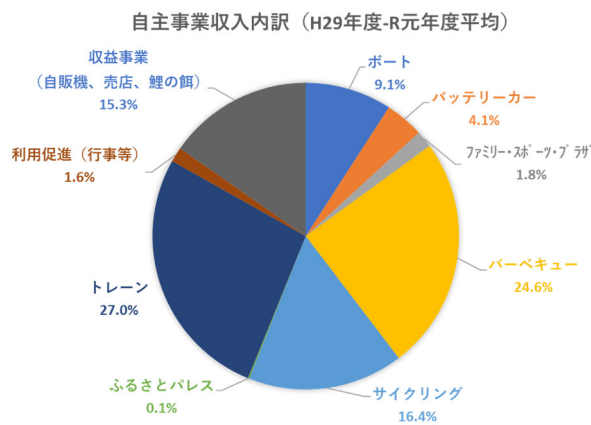


図 5 施設別自主事業収入

D) 令和 2 年度 (2020) の自主事業収入及び収支

特に新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと考えられる自主事業を把握するため、前項の結果と令和 2 年度 (2020) の自主事業収入の施設等別の内訳及び自主事業収支とを比較した。

令和 2 年度 (2020) には全事業で収入減となったが、特にバーベキュー及びトレーンの減少幅が大きい一方、サイクリングは減少幅が小さく一定の収入が確保できている。またサイクリング及び収益事業を除きすべて赤字となっている。サイクリングは唯一黒字が拡大している。

3) 支出の部

A) 支出全体の内訳

支出全体では約 428 百万円/年であり、その指定管理支出が約 9 割を占めている。

B) 指定管理支出

支出全体の約 9 割を占める指定管理支出の内訳は、維持管理費が約 6 割を占めており、その内訳としては、割合の大きい方から植物管理費（約 33%）、施設整備管理費（約 22%）、警備運営管理費（約 20%）、清掃管理費（約 18%）、その他管理費（約 7%）と続く。

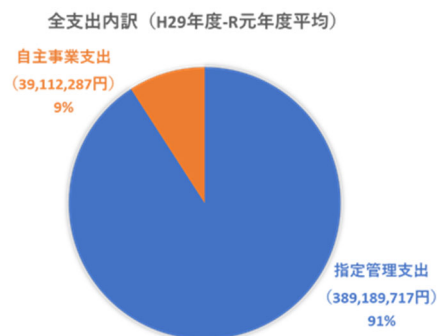


図 6 全支出内訳

3.1.6 管理者ヒアリング

太閤山ランドの魅力向上策の検討にあたり、管理者の視点からの太閤山ランドの現状を確認することを目的とし、管理者ヒアリングを実施した。

日 時：令和3年（2021）10月22日（金）

ヒアリング先：公益財団法人 富山県民福祉公園

方 法：事前にヒアリングシートを事前送付、ヒアリングシートをもとに直接対話

1) 魅力

【公園全体について】

- ・ 石川県など県外からの利用者もみられる。
- ・ 来園者の約95%はリピーターである。

【イベントについて】

- ・ 人気イベントは、あじさい祭り、GWやハロウィンイベント、フリーマーケットなど。
- ・ 雨天時のイベント会場としてふるさとパレスが利用されている。

【施設について】

- ・ 人気施設は、プール広場、こどもみらい館、BBQ、噴水パラダイス、トレーンなど。
- ・ 噴水パラダイス周辺は、駐車場に近く、イベントができるため公園の中心エリアとなっている。
- ・ プール広場は北陸地方の中でも規模が大きく、石川県や岐阜県などからの利用者がみられる。
- ・ こどもみらい館は雨天時や冬季も利用者が多く、遠足でも利用されている。
- ・ レンタサイクルはコロナ禍でも需要があった。
- ・ ふるさとパレス、ファミリー・スポーツ・プラザは冬季の中高生の部活動の活動場所となっている。

2) 問題点

【運営】

- ・ あじさい祭りでイルミネーションを実施しているが、入場無料のため赤字である。
- ・ トレーンは人気があるが赤字である。

【維持管理】

- ・ 展望塔は老朽化のため維持費が高くなっている。
- ・ ハードのテニスコートは老朽化のため利用者が少ない。
- ・ みはらしとりで、クリスタルゲレンデ、スカイプロムナードは老朽化のため廃止しているが、撤去や更新がされていない。
- ・ 施設を選ぶと電気が付くマップがあるが、老朽化して壊れている。
- ・ 建屋が小さく洋式化できていないトイレや、バリアフリー対応でないトイレがある。

【動線・アクセス】

- ・ 夏はトレーン 1 台をプール広場・バーベキューコーナー専用になっているが、利用者に対して不足している。
- ・ 虹のうきはしは段差があり、迂回する利用者もいる。
- ・ 駐車場は夏のイベント時に不足することがあり、臨時の南駐車場で対応している。
- ・ 施設が駐車場から遠いという苦情がある。

【施設】

- ・ ローラースケート場、BMX 競技場など南側の施設は利用が少ない。
- ・ 赤い屋根ギャラリーは、ギャラリースペース以外の利用はなく、入口から少し遠く使いにくい。

3) ポテンシャル

【全体】

- ・ デートスポットとなり、若者の利用が増えると良い。
- ・ 子どもから高齢者まで全ての世代で賑わう公園にしたい。

【既存施設の改修】

- ・ 水辺の広場は、大型遊具やふわふわドームなど、遊具を集約したエリアにしたい。
- ・ プール広場は、施設が古いためリニューアルし、新しい機能（プロジェクションマッピング等）を入れたい。
- ・ クリスタルグレンデ、みはらしとりで、スカイプロムナードは改修または撤去したい。
- ・ 赤い屋根ギャラリーは改修して使い勝手をよくしたい。
- ・ 看板や掲示板をデジタルサイネージにしたい。
- ・ テニスコートは改修または撤去したい。

【新機能の導入】

- ・ BMX 競技場はドローンサーキットやスケートボード練習場など他の利用法も考えている。
- ・ ボート以外で水辺を利用できるとよい。
- ・ 仮設でないドッグランがあってもよい。
- ・ 夜間も営業できればグランピング等ができる。
- ・ 冬季以外に有料でイルミネーションを実施したい。
- ・ カフェなどの飲食施設がほしい。
- ・ ビジターセンターの機能を強化したい。
- ・ 虹のうきはしの段差をなくしたい。
- ・ 駐車場を拡張したい。

4) 全体総括

- ・ プール広場は北陸地方でも規模が大きく、県外からの利用者も多い。
- ・ こどもみらい館は雨天時や冬季も利用者が多く、遠足でも利用されている。
- ・ ふるさとパレスなどは雨天時のイベント会場や冬季の中高生の部活動の活動場所となっている。
- ・ トレーンやイルミネーションなどは一定の人気・集客力は見込めるが、運営の工夫が必要。

- 老朽化のため使用禁止となっている施設や、利用者が少ない施設がある。
- 駐車場から遠いことなどもあり、南側の施設の利用が少ない。
- 現状はファミリー層やシニア層の利用が多く、若者の利用も含めて全ての世代で賑わう公園としたい。

3.2 県民ニーズ調査

多くの県民に愛される公園とするため、現状の太閤山ランドの魅力と課題、更なる魅力創出のためのニーズ等について、県民や関係団体、県内事業者を対象に実施した。その際、太閤山ランドが実施した利用者アンケートも参考にした。

3.2.1 県民ニーズ

(1) ニーズ把握の方法

県民の幅広い意見を把握し魅力向上策に反映するためには、公園利用の有無など、立場によるニーズの違いを把握する必要がある。そのため、ここでは県民の居住エリアと利用の有無によってステークホルダーを分類し、それぞれにあった調査方法を用いることとした。

対象	エリア	公園利用	調査方法
県民全体	近・遠	有・無	WEB アンケート、県政モニターアンケート
公園利用者	近・遠※一部県外	有	LINE 会員アンケート、利用者アンケート
周辺地域住民	近	有・無	グループヒアリング

(2) 県民全体（県政モニターアンケート・WEB アンケート）

調査名	実施概要
WEB アンケート	日 時：令和3年（2021）12 月 方 法：民間リサーチ会社によるWEB アンケート 対象者：富山県民 回答数：800 件 （利用者 400 件・未利用者 400 件）
県政モニターアンケート	日 時：令和3年（2021）11 月 1 日～ 令和3年（2021）11 月 15 日 方 法：郵送、電子申請 対象者：県政モニター 回収数（率）：178 件（90.4%）

1) 魅力

- ・ 子どもを遊ばせる環境が充実していること。
- ・ 様々な行事やイベントが年間を通じて開催されていること。
- ・ 豊かな自然があり、広々としていること。

2) 問題点

- ・ 公園内の移動手段が不足していること。
- ・ 施設が老朽化していること。
- ・ 飲食・休憩施設が不足していること。
- ・ 大人向けの施設やイベントが少なく、利用者層が限定的であること。

3) 魅力向上への意見

- ・ 四季の花が彩る庭園。
- ・ 飲食施設や休憩施設。
- ・ 自然を活かした施設やアクティビティ。
- ・ 天候に関係なく遊べる室内アトラクション。
- ・ 夜間営業やキャッシュレス化の検討。
- ・ バリアフリー対策。

(3) 公園利用者（LINE 会員アンケート・利用者アンケート）

調査名	実施概要
太閤山ランド LINE 会員アンケート	日 時：令和3年（2021）12 月 方 法：太閤山ランド LINE 会員に WEB アンケート URL を 送付し、回答を依頼 対象者：太閤山ランド LINE 会員 回収数：68 件
令和元年度来園者アンケート	日 時：①令和元年（2019）5 月 3 日～5 月 5 日 ②令和元年（2019）8 月 12 日～8 月 18 日 方 法：入口広場などで職員が聞き取り 対象者：①来園者 89 名 / ②来園者 95 名
令和2年度来園者アンケート	日 時：令和2年（2020）11 月 21 日～11 月 22 日 方 法：第1 駐車場付近で調査票を配布・回収 対象者：来園した子ども連れの親 168 名

1) 魅力

- ・ こどもみらい館をはじめとする、子どもを遊ばせる環境が充実していること。
- ・ 様々な行事やイベントが年間を通じて開催されていること。
- ・ 敷地が広く、多様な施設がそろっていること。
- ・ 豊かな自然があり、広々としていること。

2) 問題点

- ・ プールのトイレや更衣室の数や清潔感が不足していること。
- ・ 高齢者や障害者、子ども連れへの配慮が不足していること。
- ・ 公園内の移動が不便なこと、案内等が不足していること。

3) 魅力向上への意見

- ・ カフェ・レストラン機能の充実。
- ・ 子ども向けイベント、遊び場の充実。
- ・ 夜間営業やキャッシュレス化の検討。

(4) 周辺地域住民（グループヒアリング）

太閤山ランドの周辺地域の住民へのニーズ把握を行うにあたっては、対話を通じて双方向で詳細な情報が得られるとともに、立場を明確にした意見が整理可能となる、グループヒアリングを採用した。また、年代による対象分けを行うことで、ライフステージごとの違いを把握した。

なお、一部の調査については、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、WEB上でのアンケート実施となった。

対象	実施概要と結果
未就学児と保護者	<p>期間：令和4年（2022）2月下旬～3月上旬 方法：WEB アンケート 対象者：太閤山ランド周辺の保育施設に通う未就学児の保護者 85名</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全員が太閤山ランドに行ったことがある。（1年以内に行った人は73人） ● こどもみらい館、トレーン、噴水パラダイスを利用したことがある人が多く、子どもたちに人気がある。 ● ファミリー・スポーツ・プラザ、ふるさとパレス、紫陽庵、太閤山荘、ローラースケート場、BMX 競技場は利用したことがある人が少ない。 ● 飲食施設や屋内遊戯場、屋外遊具の充実を求める声が多い。
小学生・中学生	<p>期間：令和4年（2022）2月下旬～3月上旬 方法：WEB アンケート 対象者：「NPO 法人こすぎ総合スポーツクラブきらり」に所属する小中学生 33名</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 太閤山ランドに行ったことがある人は33人中32人。 ● 一番好きな施設として、こどもみらい館、プール広場をあげた人が多く、小学生・中学生に人気がある。 ● 改善点のある施設として、プール広場、ファミリー・スポーツ・プラザ、ふるさとパレスをあげた人が多い。 ● アスレチックなどの遊具のほか、地形を活かした雪遊びのアイデアがあがった。
高校生	<p>日時：令和3年（2021）11月22日（月）16:00～17:00 場所：富山県立小杉高校 会議室 参加者：小杉高校生徒会の学生 10名</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 太閤山ランドに行ったことがある生徒は10人中7人。 ● 中学生になると部活などが忙しくなり、行かなくなる。 ● 小さいこどもの遊び場としては良いと思う。自慢できる場所。 ● マップや案内板が少なく、現在地が分からないため迷子になったことがある。 ● 宣伝が重要。発信方法の工夫、代名詞をつくる（日本一〇〇、県にここしかない、など）、お土産やゆるキャラなど。 ● SNS映えを意識した食べ物や景色、フォトスポットがあれば行きたい。 ● イベントの開催（イルミネーションや屋台フェス、雪を活用したイベントなど）。 ● 今は子ども向けの遊具しかない。大型のアスレチック、トランポリンやふわふわドームなどがあると良い。 ● 3on3のコートやアーバンスポーツがあればやってみたい。 ● 夏は暑く、冬は寒いので、屋内でスポーツをすることが多い。 ● Wi-Fiの整備。カフェがあれば勉強スペースにもなる。

<p>大学生・ 専門学生</p>	<p>日時：令和3年（2021）12月1日（水）18:30～19:15 場所：射水市役所 本庁舎会議室 参加者：市内の高等教育機関の学生 5名</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 太閤山ランドに行ったことがある学生は5人中4人。 ● このあたりでBBQというと太閤山ランドが候補にあがる。大学生になっても友達とBBQ、プールなどには行ったりする。 ● 大人が真剣に遊べるドッチボールやドロケイなどをやっていたら参加したい。脱出ゲームやサバイバルゲームも良いかもしれない。 ● グランピングやキャンプがあれば行ってみたい。 ● プールにもう少し大規模なスライダーがあると面白いと思う。 ● カフェがあると良い。飲食については近くのコンビニで事足りる。 ● 情報収集はインスタなどのSNSが多い。
<p>大人</p>	<p>日時：令和3年（2021）12月10日（金）14:00～15:00 場所：南太閤山コミュニティセンター 参加者：南太閤山地域振興会の方 13名</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全員が太閤山ランドに行ったことがある。（1年以内に行った人は12人） ● 子どもや孫と行く人が多い。 <p>【施設・機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 散歩やウォーキングに行くことが多く、展望塔なども散歩コースとなっている。 ● せせらぎの道や噴水パラダイスはプールでまだ泳げない小さい子も利用できて良い。 ● BBQは手ぶらで行けて片付けも不要で助かる。 ● 左義長祭りなど、地域の歴史ある行事を行う場所でもある。 ● 親の散歩の介助で行くことがあるが、車いす利用だとアップダウンが多く大変。 ● 細い道は滑りやすいところも多く、危険である。 ● 食事ができる場所がないので長時間いられない。 ● 人工芝のテニスコートを増やしてほしい。 ● 集まりやすい場所に気軽に使えるギャラリーがあると良い。赤い屋根ギャラリーはアクセス性があまりよくない。 ● 惹かれるようなイベントがないとなかなか行かない。四季折々の目玉があると良い。夏フェスタや花火も良いのでは。 <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 庭園や水辺空間をもっと活かせると良い。アジサイ以外にも季節ごとの花があれば、他の時期にも魅力が増える。 <p>【維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 園内の情報がもう少しわかりやすく発信されると良いのではないかと。

3.2.2 関係団体・県内事業者ニーズ

対象	実施概要と結果
射水市	<p>日時：令和3年（2021）10月15日（金）13:30～</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 太閤山ランドから小杉駅までの太閤山地区を DX のモデル地区とし、県と連携しまちづくりに取組みたい。 ・ 射水市は県の施設も多く、太閤山ランドの魅力向上とまちの整備、周辺道路の整備を一体的に実施してほしい。 ・ 小杉駅の南口から太閤山ランドを自動運転モビリティなどでつなぎたい。中継点にある富山県立大学の協力も得られる。 ・ その他市内の短大、専門学校との協力が得られる可能性がある。 ・ 多様な世代の利用を促進するため、園内のゾーン分けが望まれる。 ・ 防災時の避難機能があるとよい。
A 社 (スポーツ関連)	<p>日時：令和3年（2021）10月15日（金）11:00～</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 週4回ふるさとパレスを練習場所として利用しており、太閤山ランドが休園でなければ火曜日も利用したい。 ・ イベント等における連携については協賛実績があり、スポーツ教室やイベント等での連携も可能。 ・ ふるさとパレスの夜間開放が望まれる。ふるさとパレスが開放されれば、ジュニアチームの利用やスポーツ教室開催が可能。 ・ スポーツエリアをつくり、そのエリアのみ営業時間を延長してはどうか。その場合、自社で管理運営を行うことも可能。
B 社 (ドローン関連)	<p>日時：令和3年（2021）10月15日（金）11:00～</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 太閤山ランド内のスポーツひろばとファミリー・スポーツ・プラザが主な講習場所であり、月2回程度利用している。 ・ 太閤山ランド屋外でのドローン飛行は「富山県置百年記念民公園条例」に沿って実施している。規制が厳しい。また、ドローン利用の各種手続きが煩雑である。 ・ ドローンを活用した公園管理業務としては、夜の動物調査、屋根の点検、夜間巡回、薬剤散布などが考えられる。
C 社 (ドローン関連)	<p>日時：令和3年（2021）10月15日（金）11:00～</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドローンは相当な集客が見込めるコンテンツである。 ・ 太閤山ランドへの参入も可能である。 ・ ドローンを活用した公園管理業務としては、照明器具などの各種点検、園内の混雑具合の空撮や、運搬サービス、音声を発する機体でのアナウンスや誘導などが考えられる。 ・ 現場で機体の性能を確認することが必要であるので、社会実験は必要である。季節毎に連続して1週間実施する程度でよい。
D 社 (ウェルネス関連)	<p>日時：令和3年（2021）12月10日（金）11:00～</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム事業は、アドベンチャー施設を使って、メンタルヘルスのマネジメントを受けながら、人間関係づくりの体験学習を行うグループカウンセリングの一種である。 ・ 運営には、プログラムを提供できる人材が必要であるが、太閤山ランドに人を派遣することはできない。 ・ 太閤山ランドの管理者等が研修を受け、プログラム運営を行うことは可能。

<p>E 社 (園芸関連)</p>	<p>日時：令和3年(2021)12月10日(金)13:00～ 【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県の花であるチューリップを観光資源にしたい。 ・ 太閤山ランドで指定管理を行う場合、アジサイ前後の時期に開花する花の花畑を作りたい。 ・ 太閤山ランドで PFI 事業を行う場合、SPC として参加したい。 ・ コンテンツを継続的に変えていく、長期的な事業としたい。 ・ 柔軟な民活導入が望ましい。
<p>F 社 (園芸関連)</p>	<p>日時：令和4年(2022)2月8日(火) ※アンケート受領 【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 太閤山ランドの魅力向上策として、アート花壇、花をテーマにした園路、小さなお庭の見本などの可能性が考えられる。
<p>G 社 (園芸関連)</p>	<p>日時：令和4年(2022)2月10日(木) ※アンケート受領 【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 太閤山ランドの魅力向上策として、アグリガーデン、ハーブガーデン、アート花壇などの可能性が考えられる。
<p>H 社 (園芸関連)</p>	<p>日時：令和4年(2022)2月10日(木) ※アンケート受領 【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アグリガーデン・ハーブガーデンやアート花壇、花の栽培・販売、花をテーマにした園路などの可能性が考えられる。いずれも将来的な利用ニーズの拡大が見込まれる事業である。
<p>I 社 (子育て関連)</p>	<p>日時：令和4年(2022)2月14日(月) ※アンケート受領 【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の設置可能性について、あると便利なのは間違いないが、特定の地域の方が利用する保育園を公共性の高い、多数の人が利用する敷地内に設置することに疑問を感じる。 ・ 周辺地区の子育て世代の居住推進につなげるための施策の一つとして、保育所を設置するのであれば効果は期待できる。 ・ 太閤山ランドを利用する際に子供を預かるなら託児所または認可保育所が望ましい。 ・ 保育所などよりも飲食店を増やすことで、曜日に影響されず魅力アップにつながると考える。

3.3 先進事例調査

3.3.1 先進的なコンテンツの抽出（先進事例調査①）

(1) 調査概要

魅力向上策の検討にあたり、ICT など最先端の技術を活用した取組みや、利用者の増加や満足度向上につながる取組み、県の行政施策に合致するブランド力向上に寄与する取組み等を把握するため、先進的なコンテンツの整理を行った。

時 期：令和3年（2021）9月

方 法：文献・WEB 調査

対 象：79 事例（75 社）

主な内容：特徴、参考となる知見、主要施設、管理者

(2) 調査結果

抽出したコンテンツの内容について、下記のような傾向が見られた。

【デジタル技術の活用】

- VR・AR などの最新技術をスポーツ、観光、健康、学習など多様なコンテンツと掛け合わせ、臨場感や異空間の体験、遠隔地からの利用など新たなコンテンツとして展開されている。
- 自動運転による移動の効率化や、VR・AR の周遊観光的な活用が進んでいる。
- ICT を活用した観戦による体験価値の向上や、予約やデータ計測などのデジタルコンテンツによる効率化が図られている。
- イルミネーションやプロジェクションマッピングを使ったエンターテインメント性の高いアート体験が展開されている。

【新しいライフスタイルの提案】

- 若者を中心としたアーバンスポーツや大型アスレチックのアクティビティ、キャンプなどで技や知識を深める体験型コンテンツが展開されている。
- 日常から旅先まで自然との共生や、SDGs を取り入れたフィットネスやヘルスケア、食の体験、商品づくりなどを通じてウェルビーイングの概念を取り入れた暮らしにつながるコンテンツが展開されている。
- 親子が共に楽しめる屋内遊びや遊び場と図書館との複合化、ワーケーションやライブ러리+カフェなどの機能を組み合わせ、ライフスタイルの変化を捉えた居場所づくりが展開されている。
- フードロスやリサイクルなどの環境をテーマとした事業やイベントが多く展開されている。
- 美しい自然を体感できるアクティビティや地元食材との組合せなどの非日常感のある体験が提供されている。

3.3.2 先進的なコンテンツの詳細の把握（先進事例調査②）

(1) 調査概要

魅力向上策で導入するとした先進的なコンテンツの人気やトレンドなどの詳細な情報を把握した。

実施概要	
①	<p>時 期：令和3年（2021）10月1日（金）～11月8日（金）</p> <p>方 法：アンケート調査（電話、問合せフォームで協力依頼後、アンケート用紙送付）</p> <p>対 象：文献・WEB調査で選定した79事例（75社）のうち、連絡の取れた68事例（68社）</p> <p>有効回答率：19.1%</p> <p>主な内容：事業の趣旨・目的、人気があるコンテンツかどうか、利用者の属性、運営体制、費用</p>
②	<p>時 期：令和4年（2022）2月2日（水）～2月18日（金）</p> <p>方 法：アンケート調査（電話、問合せフォームで協力依頼後、アンケート用紙送付）</p> <p>対 象：魅力向上策への導入が望ましいコンテンツから選定した39事例</p> <p>有効回答率：47%</p> <p>主な内容：人気があるコンテンツかどうか、利用者層、業界の動向、運営体制・人員、概算事業費</p>

(2) 調査結果

結果概要	
レジャーパーク	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年（2021）は導入実績、メディア掲載、公園管理者・行政等からの問合せ等いずれも多数あった。 利用者はリピーターより新規顧客が多く、20代の利用が最も多い。 現在人気のあるジップラインは、今後も人気が続くと予想されるほか、複数のコンテンツを融合させたコンテンツが今後人気になると予想される。
遊戯	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年（2021）は導入実績、メディア掲載、公園管理者・行政等からの問合せ等いずれも多数あった。 利用者は新規利用者とリピーターが半々か、新規利用者が多く、未就学児、子育て世代の利用がほとんどとなっている。 現在人気のある大型遊具や立体的な室内遊具、ネット遊具は、今後も人気が続くと予想されるほか、ネットトランポリン遊具や、デジタルコンテンツと融合した遊具が今後人気になると予想される。
デジタルアート	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年（2021）は導入実績、メディア掲載、公園管理者・行政等からの問合せ等いずれも多数あった。 20代の利用が最も多く、40%程度を占めている。 個人の正確・能力等で最適化されたコンテンツ、オンラインとオフラインを併合したコンテンツのほか、ウェルビーイング、SDGsを取り入れたコンテンツが今後人気になると予想される。

デジタルスポーツ・ ニュースポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年（2021）は導入実績、メディア掲載、公園管理者・行政等からの問合せ等いずれも多数あった。 ニュースポーツはリピーターが多いが、VRを用いたデジタルスポーツはやや新規顧客が多い傾向にある。 29歳以下の利用が80%程度を占めている。 スケートボードは今後人気が出ると予想される。
ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年（2021）はメディア掲載、行政等からの問合せ等が多数あった。 30～40代の利用が多い。
キャンプ	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年（2021）は導入実績、メディア掲載、公園管理者・行政等からの問合せ等いずれも多数あった。 新規顧客が多く、20～40代の利用が多い。 温泉やサウナ、収穫体験のほかイベント実施が人気となっている。

3.3.3 太閤山ランドに導入すべき管理のスマート化手法の整理

ICT など最先端の技術を活用した管理の取組みを抽出し、管理のスマート化手法の整理を行った。

A) 都市公園に適用可能と判断され、推進が期待される新技術

国土交通省が、新技術活用調査において、都市公園に適用可能と判断し、推進が期待されるとした5つの技術について、太閤山ランドへの導入を検討すべき管理手法とした。

B) 管理者が管理上で感じている問題の対策となる新技術

管理者ヒアリングでは、管理に関する問題がいくつかあげられた。それらの問題の対策となりうる新技術を太閤山ランドへの導入を検討すべき管理手法とした。

C) 事例より導入可能と考えられる新技術

先進的な事例で活用が図られ、太閤山ランドの現況や社会のトレンドを考慮すると導入が望ましいと考えられる新技術を、太閤山ランドへの導入を検討すべき管理手法とした。

表 5 太閤山ランドへの導入を検討すべき管理のスマート化手法

新技術活用目的 ※新技術活用調査より、維持管理に関連する項目を抜粋	新技術活用方法 ※新技術活用調査より、維持管理に関連する項目を抜粋	新技術活用方法の内容(例)	新技術のキーワード(例)	参考事例	管理手法	導入の検討の必要性			概要
						都市公園での推進が期待される	管理者が管理上で感じている問題の対策となる	事例より導入が望ましいと考えられる	
1 公園施設管理	市民からの通報受付における ICT 活用	公共施設などの不具合を市民がアプリで通報する	アプリ	ねりレポ	公共施設不具合通報アプリ	●		●	都市公園で適用可能であり、推進が期待される技術である 1)
	自動芝刈	ロボットが自動で充電、芝刈りを行う	ロボット	ロボット芝刈り機 Millmo (日比谷公園) 弘法山公園 国営平城京跡歴史公園実証実験	ロボット芝刈り	●		●	都市公園で適用可能であり、推進が期待される技術である 1)
2 利用者実態把握	ドローン等を活用した点検・維持管理	ドローン空撮データを元に各種調査を行う	ドローン、カメラ		調査用ドローン	●		●	都市公園で適用可能であり、推進が期待される技術である 1)
	携帯基地局データによる利用者移動・属性把握	人口密度、移動・滞在、居住地エリア、性別・年代等がわかる携帯基地局データをを用い、利用者やイベント来場者等の分析を行う	携帯基地局データ	NTT ドコモモバイル空間統計	携帯電話基地局データ	●		●	都市公園で適用可能であり、推進が期待される技術である 1)
3 来園者へのサービス提供	公園内の混雑状況の把握	ネットワークカメラで撮影した映像から、指定した範囲の混雑状況を AI で把握する 人流赤外線センサーで入手したデータから AI が混雑状況を把握し、利用者がアプリで確認する	センサー、アプリ、AI、クラウド、ネットワークカメラ	新沢千塚古墳群公園実証実験	センサーおよび AI を搭載したネットワークカメラ			●	三密を避けるため、空間内の人の動きを把握して、平時・災害時ともに過密を避けるよう人の行動を誘導することが求められる 2)
	公園内の監視	ネットワークカメラを活用し、オンラインでカメラの映像を確認できる。撮影方向が分かりにくく犯罪抑止になることもある	ネットワークカメラ	千葉県市川市の公園	ネットワークカメラ			●	現状では監視カメラが足りず、各施設の利用状況やトラブルを管理事務所で把握できない 3) 事件の際に警察から画像データを求められることが増えた 3)
4 その他	利用者動向の把握	ドローンやロボットが巡回して集めた画像を AI が解析し、不審者・体調不良・迷子・ゴミ等の分布を地図ビューア等で確認する	AI、5G、4K・8K、ドローン、ロボット (自動巡回モビリティ)	国営平城京跡歴史公園実証実験	巡回用ドローン・ロボット			●	現状では監視カメラが足りず、各施設の利用状況やトラブルを管理事務所で把握できない 3) 事件の際に警察から画像データを求められることが増えた 3)
	多言語案内	スマートフォン等で QR コードを読み取るだけで多言語に翻訳された案内を閲覧できる	ピーコン、QR コード、アプリ、多言語翻訳	奈良市の QR コード読み取り多言語翻訳	多言語翻訳 QR コード付き案内板	●		●	公園で適用可能であり、推進が期待される技術である 1)
5 その他	デジタルサイネージ	電子的な表示機器を使って情報を提供する看板、掲示板である	デジタルサイネージ、センサー、クラウド	国営平城京跡歴史公園実証実験	デジタルサイネージ			●	現状では掲示板の老朽化が進んでいる 3) 4) 広大な園内の掲示物の変更により手間がかかっている 3)
	Wi-Fi 環境の提供	無線 LAN とは無線で接続したネットワークのこと、Wi-Fi は規格の名称である。モバイル通信回線がない端末も利用できる。スマートフォンのパケット通信料の節約になるなどのメリットがある	Wi-Fi、公衆無線 LAN	新宿御苑	Wi-Fi、公衆無線 LAN			●	利用が多い施設で Wi-Fi 環境の整備が望まれている 3) 公園、広場などの緑やオープンスペースに、テレワークの一の作業場所としての活用が求められている 5)
6 その他	入園料金等徴収・収納業務における ICT の活用	AI カメラによる顔認証、QR コードの提示、IC カード等を利用することで、入園料金等徴収・収納をキャッシュレス化する	顔認証、AI、QR コード、IC カード、NFC	富士急ハイランド	顔認証カメラ キャッシュレス決済			●	富士急ハイランドをはじめ集客性の高い施設等での導入が進んでいる
	検温技術(コロナ対策)	顔認識 AI 技術とセンサーにより非接触の検温を行う	センサー、サーマルセンサー、AI	都立武蔵野の森公園	サーマルセンサー付き検温機			●	発熱など体調不良時の公園利用は控えることが求められる 6) コロナ終息後も利用したいサービスタとして非接触型の検温が上位にあがっている 7)

※太閤山ランドで導入が望ましいと考えられる根拠の出典

- 1) 公園緑地 2021 年 10 月号 / (一社)日本公園緑地協会、2) 令和 3 年度観光光白書/国土交通省、3) 管理者ヒアリング (令和 3 年 (2021) 10 月 22 日実施)、4) 現地調査 (令和 3 年 (2021) 10 月 22 日、23 日実施)
5) 新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性/国土交通省、6) 緑とオープンスペースをフル活用し、新型コロナに負けない健康なライフスタイルへ/国土交通省、7) 令和 3 年情報通信白書/総務省

3.4 基礎調査のまとめ

これまでの現地調査、管理者ヒアリング、県民ニーズ、社会状況等を踏まえ、太閤山ランドの改善すべき課題点等を取りまとめた。

調査	主な結果
現地調査	<ul style="list-style-type: none"> 四季折々の植物を楽しめる散策路や東屋、立山連峰が一望できる展望塔など、自然を楽しめる施設が設けられており、広場の芝生なども綺麗に維持管理されている。 一方で、立入禁止エリアの存在や、自然を活かしたアクティビティや憩い空間が少ないエリアなど、園内の資源を活かしきれていないエリアも存在する。 駐車場から遠く、アクセス性の悪いエリアが存在する。 案内サインの配置やバリアフリー対応について不十分なエリアが存在する。 開設から約40年が経過し、老朽化の目立つ施設が複数存在する。 老朽化のため使用禁止の状態のままとなっている施設が複数存在する。
管理者ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> プール広場は北陸地方でも規模が大きく、県外からの利用者も多い。 こどもみらい館は雨天時や冬季も利用者が多く、遠足でも利用されている。 ふるさとパレスなどは雨天時のイベント会場や冬季の中高生の部活動の活動場所となっている。 トレーンやイルミネーションなどは一定の人気・集客力は見込めるが、運営の工夫が必要。 老朽化のため使用禁止のままとなっている施設や、利用者が少ない施設がある。 駐車場から遠いことなどもあり、南側の施設の利用が少ない。 現状はファミリー層やシニア層の利用が多く、若者の利用も含めて全ての世代で賑わう公園としたい。
県民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 広大な敷地と豊かな自然を魅力として感じる利用者が多い。 子どもの遊び場や行事やイベントを目的とする利用者が多い。 子ども向けの施設が多く、中学生以降は太閤山ランドに行く機会が減る傾向にあるが、BBQやプール広場などは若者の間でも利用することが多い。 駐車場から施設が遠いことや、雨の日の移動が大変など、園内の移動に関して改善を求める声が多い。 夜間営業やキャッシュレス化など、施設整備だけでなく管理運営の工夫を求める声が多い。 園内の案内や、SNSなどを活用した発信の工夫を求める声も多い。
社会状況	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省では、新たなステージに向けた緑とオープンスペース政策の展開として、“ストック効果をより高める”、“民との連携を加速する”、“都市公園を一層柔軟に使いこなす”ことなどをあげている。 国土交通省では、AIやIoTなどの新技術を活用し、公園の課題解決や公園利用者サービスの創出など“パークスマートチャレンジ”に取り組むこととしている。 社会や環境の変化に伴いライフスタイルのあり方や豊かさへの価値観がシフトしており、アウトドア分野やライフスタイル分野における消費者需要が高まっている。